

孺恋村では、「孺恋村の財政状況と今後の見通し」と題して、平成20年6月に村内各地区(計11地区)において住民説明会を開催しました。その時の説明資料を公開いたします。

# 孺恋村の財政状況と 今後の見通しについて

## 説明内容

1. 財政健全化法と孺恋村の財政状況
2. 財政が悪化した理由
3. これまでの決算額の推移
4. 「孺恋村財政健全化計画」の取り組み
5. 他町村との比較と今後の見通し

# 財政健全化法の制定

## 再建法

(S.30年)

- ・財政が悪化しても早期に改善させる機能がない
- ・自治体全体としての財政状況を把握する仕組みがない
- ・財政の悪化が進むといきなり財政再建団体(レッドカード)になる
- ・住民への財政状況の情報開示が不十分

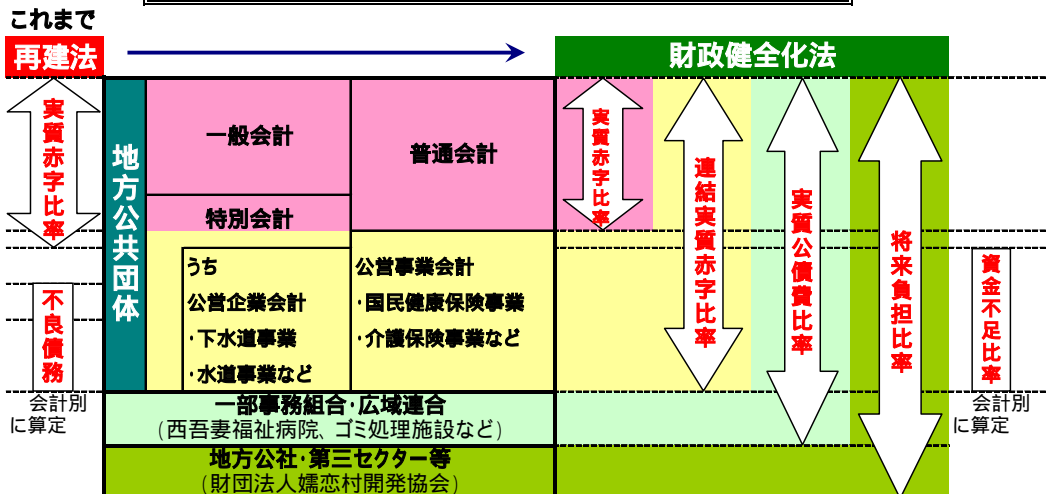


## 財政健全化法

- ・全会計を含めた新たな財政指標を導入
- ・指標により、健全団体、早期健全化団体(イエローカード)、再生団体(レッドカード)に区分、と は健全化の取組みを義務付け
- ・住民への財政状況の情報開示を徹底

- H19.6 公布
- H20.4 H19決算における財政指標を公表する義務
- H21.4 H20決算における財政指標が一定の基準を超えた場合は、財政健全化のための取組みを義務付け

## 新たな財政指標



**実質赤字比率とは...** 普通会計の赤字額が標準財政規模(39億円)に占める割合

**連結実質赤字比率とは...** 全会計の赤字額が標準財政規模(39億円)に占める割合

**実質公債費比率とは...** 普通会計が負担する実質的な負債額が標準財政規模に占める割合、3カ年の平均

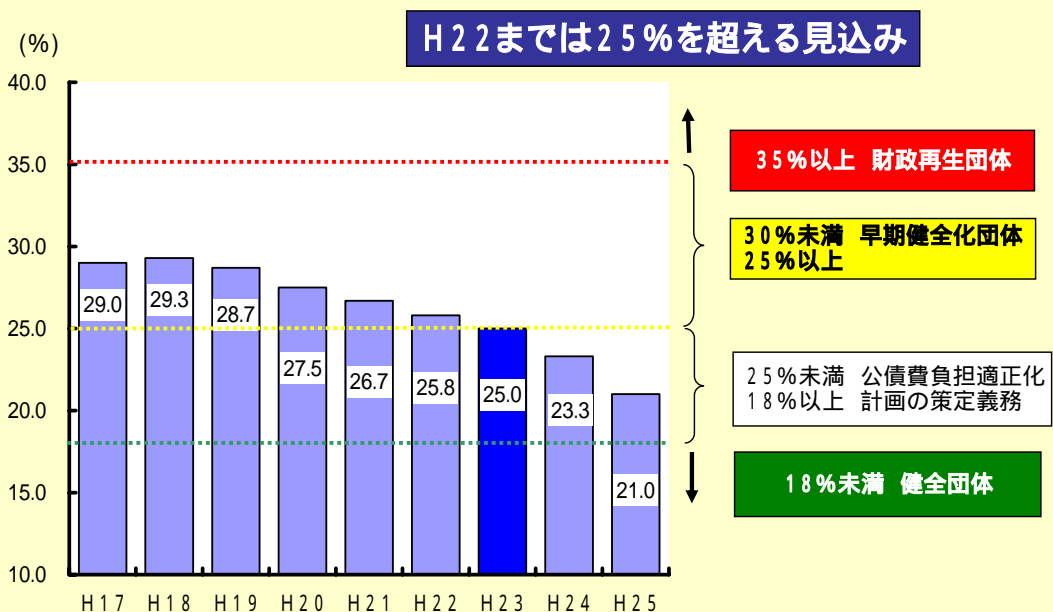
**将来負担比率とは...** 普通会計が将来負担すべき実質的な負債額が標準財政規模に占める割合

**標準財政規模とは...** 通常の行政活動を行うのに必要とされる額(税込) (税金 + 譲与税等 + 普通交付税 = 39億円)

# 4つの指標と孺恋村の数値

	(イエローカード)			(レッドカード)		孺恋村 (H20推定)
<b>実質赤字比率</b> ⇨ (H20推定 赤字なし)	健全団体	15%	早期健全化団体	20%	財政再生団体	-
<b>連結実質赤字比率</b> ⇨ (H20推定 赤字なし)	健全団体	20%	早期健全化団体	30%	財政再生団体	-
<b>実質公債費比率</b> ⇨ (H20推定 9億円 ÷ 34億円 × 100 = 26%、3力年平均推定 27.5%) 返済額の内、返済に充てられる普通交付税は除外して計算(除外する額は約5億円)	健全団体	25%	早期健全化団体	35%	財政再生団体	27.5%
<b>将来負担比率</b> ⇨ (H20推定 算定方法が確定し精査中、350%以下になる見込み)	健全団体	350%	早期健全化団体			

## 実質公債費比率の推移と見込み



# 早期健全化団体になると

## ・自主的な改善努力により財政健全化を行う

財政健全化計画の策定(議会の議決が必要)と公表

外部監査委託の義務付け

財政健全化計画と進捗状況を総務大臣・県知事へ報告

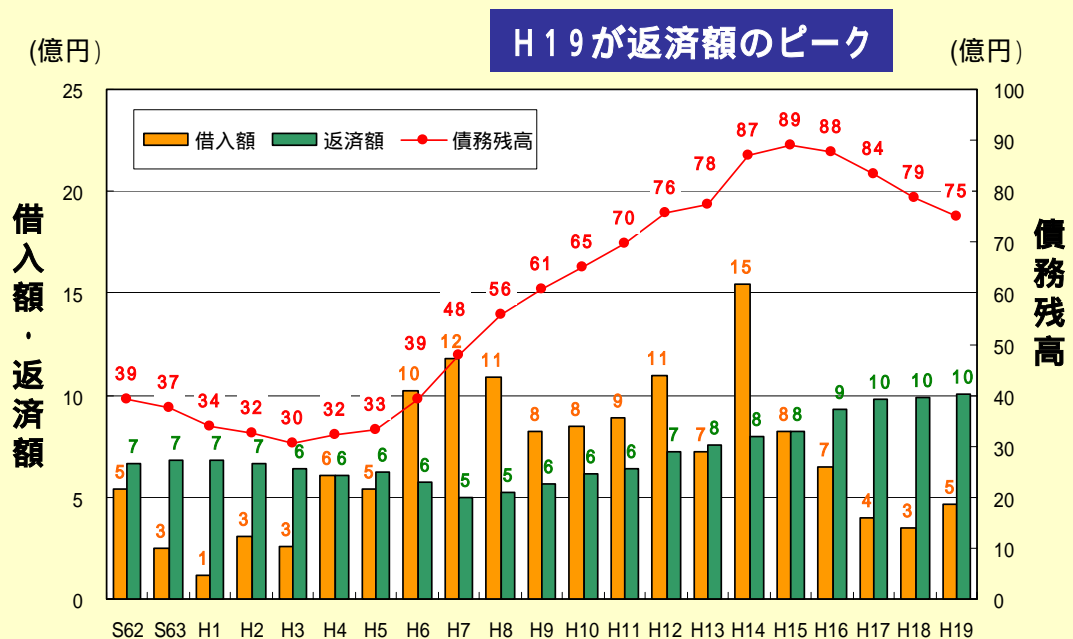
## 心配される影響

- ・借入が厳しくなる 事業執行の中止や先送り
- ・村のイメージダウン

## さらに財政再生団体になると

- ・国の関与による確実な再生が求められる
- ・国の同意を得ないと起債できない

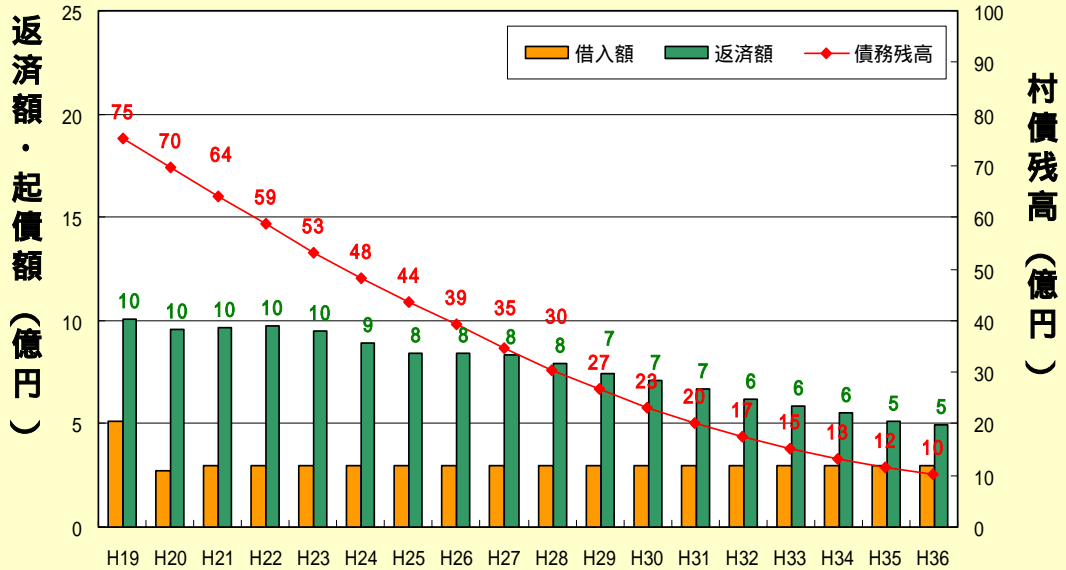
## 借入額・返済額・債務残高の推移(一般会計)



# 債務残高と返済額の見込み(一般会計)

毎年3億円を  
起債した場合

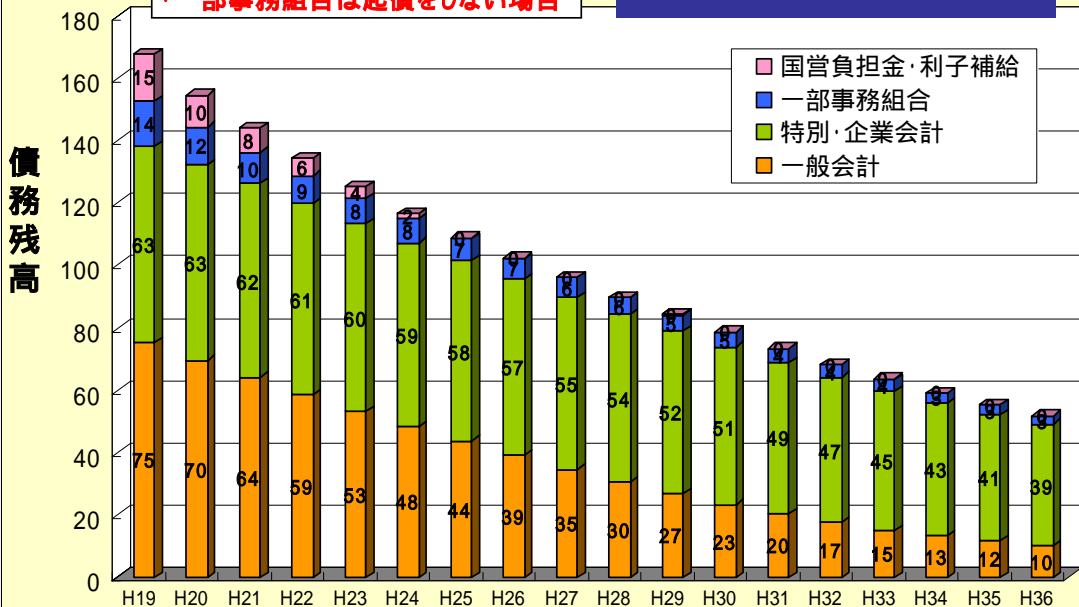
H24まで9億円を超える負担



# 債務残高の推移(全体)

・一般会計で毎年3億円を起債  
・特別会計で毎年1.8億円を起債  
・一部事務組合は起債をしない場合

10年後に半減する見込み



# 財政状況が悪化した理由

## 村税収入の減少

- ・評価額の下落に伴う固定資産税の減

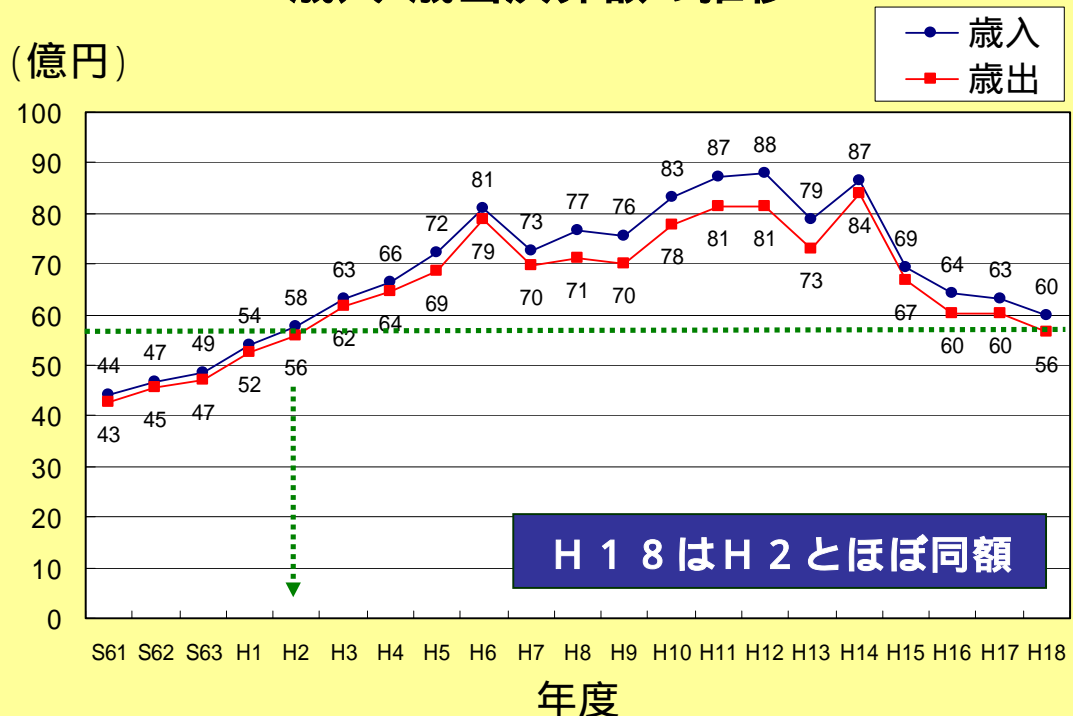
## 義務的な経費の増加

- ・保健福祉費や公債費の増加

## 歳出を歳入に合わせる機能の欠落

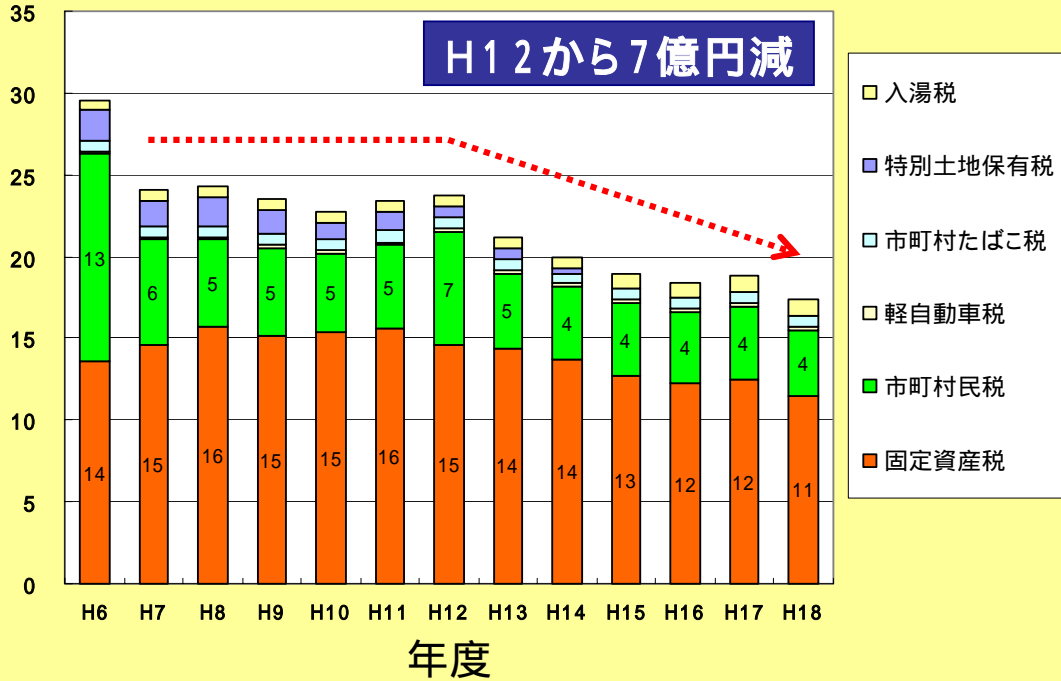
- ・歳出の削減は現実的に容易でない

### 歳入・歳出決算額の推移



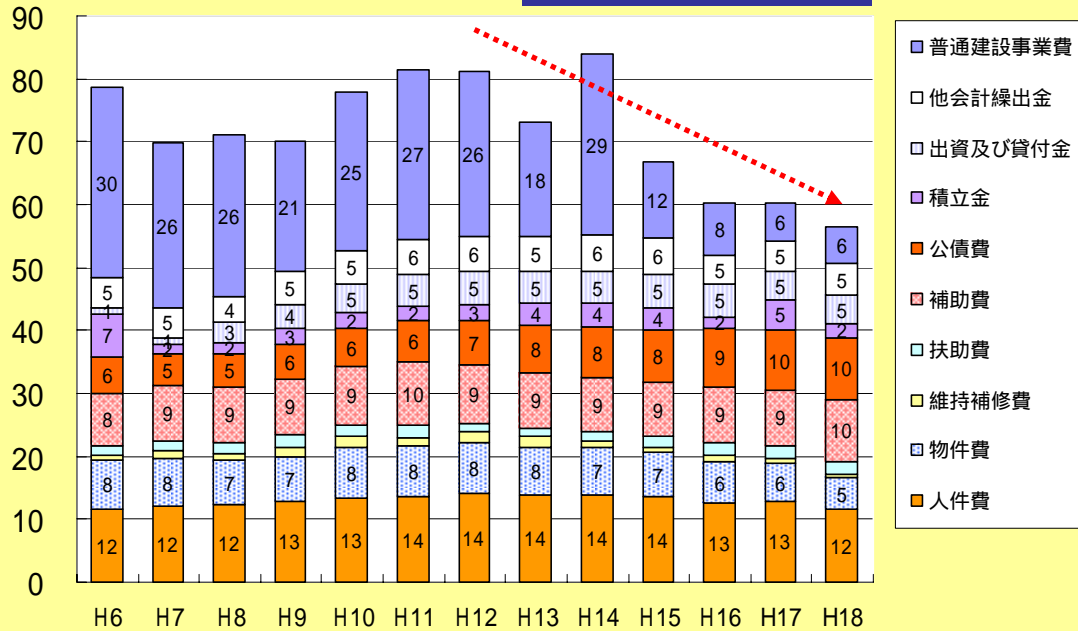
# 村税収入額の推移

(億円)



# 性質別歳出額の推移

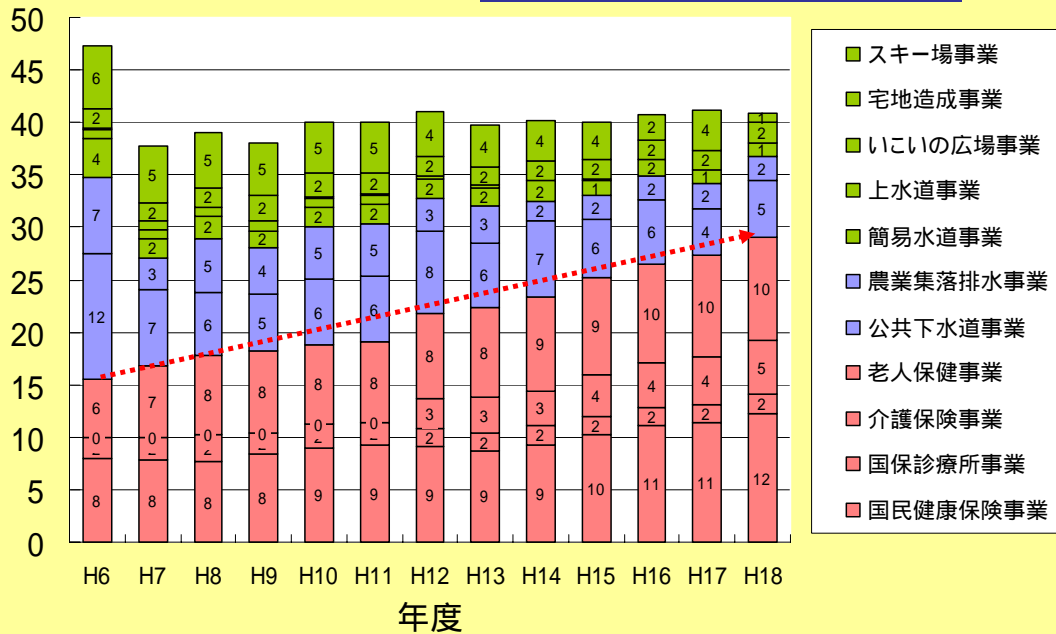
(億円)



# 特別会計の歳出額の推移

(億円)

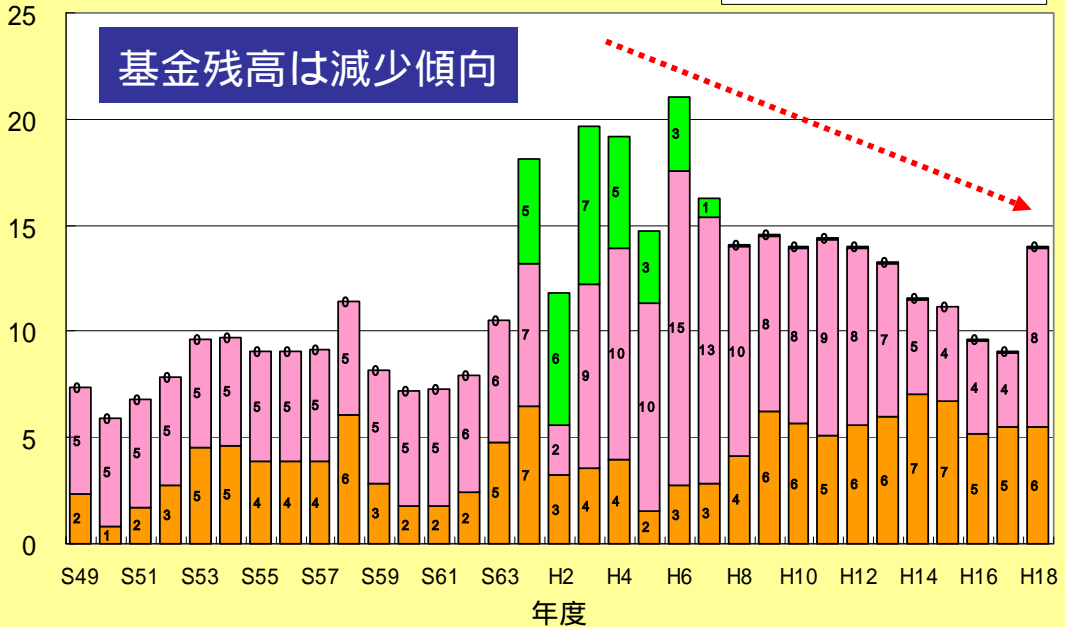
保健・福祉費が年々増加



# 基金残高の推移

(億円)

基金残高は減少傾向





# 財政健全化の取り組み

平成18年3月 「**集中改革プラン**」を策定

平成18年9月 「**孺恋村財政健全化計画**」を策定

(歳入確保と歳出削減の計画)

期間 平成18年度～平成22年度 (5カ年)

目標 ・**スキー場の不良債務13億円を4億円以下に減少させる**

現状 : 現在の不良債務は3億円、平成20年度中に繰越金、基金等を活用し解消する予定。

・**平成22年度には、当初予算において財政調整基金を取り崩さない予算とする**

現状 : 平成20年度予算の取崩し額は1億6800万円

# 歳入確保の主な取り組み

**各種税率の見直し**(周辺町村の動向を参考に)

計画 : 法人税の法人税割、及び均等割を標準税率から制限税率に改定する

実績 : H20法人税割を制限税率に改定 400万円増の見込み

**村税等滞納整理の強化**(専任職員やプロジェクトチームを組織)

計画 : 村税収納率を5年間で毎年1%ずつ上げる

実績 : H17(83.6%) H18(85.3%) = 1.7%増

**受益者負担の適正化**

計画 : 水道料金、下水道料金、公共施設利用料の見直しを行う

実績 : H18グランドなどの利用料改定、H19水道料金、下水道基本料金の改定

**未利用村有財産の売却・貸付の推進**(プロジェクトチームを組織)

計画 : 売却、貸付収入を5年間で1億9200万円増加させる

実績 : 増加額はH18までで4000万円、H17の収入1億2300万円、H18は8400万円

**新たな財源捻出**

計画 : 新たな収入を5年間で800万円捻出する

実績 : H18広報紙に有料広告、H19寄付条例を制定、H20登山道等整備協力金の徴収

# 歳出削減の主な取り組み

## 人件費の削減(議員・特別職の報酬カット、職員給与カット)

計画：H17比較で5年間に4億2600万円を削減する

実績：H18は1億6600万円、H19は1億4500万円、H20は1億1800万円を削減

## 物件費・維持補修費の削減(消耗品、備品購入の抑制、施設管理費の削減)

計画：5年間で1億円を削減する

実績：H17よりH18は1億2100万円を削減

## 補助金・負担金の削減(各種協議会、団体への補助金・負担金を見直し)

計画：5年間で1億2000万円を削減する

実績：H17よりH18は8300万円を削減(スキー場会計への補助金除く)

## 投資的経費の抑制(工事などは優先順位を精査、中止・先送りを検討)

計画：5年間で3億7300万円を削減する

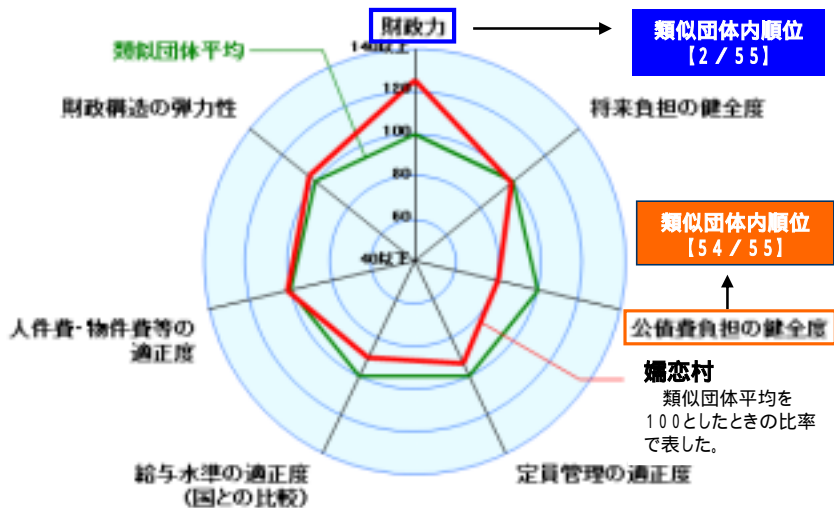
実績：H17よりH18は3200万円を削減

## 行政評価システム導入による事業費抑制(平成17年度から導入)

計画：事務事業の評価により成果重視の運営と説明責任の徹底、職員の資質向上を図る

実績：H18に実施した全274事業を見直し、H20予算へ反映(反映率70.6%)

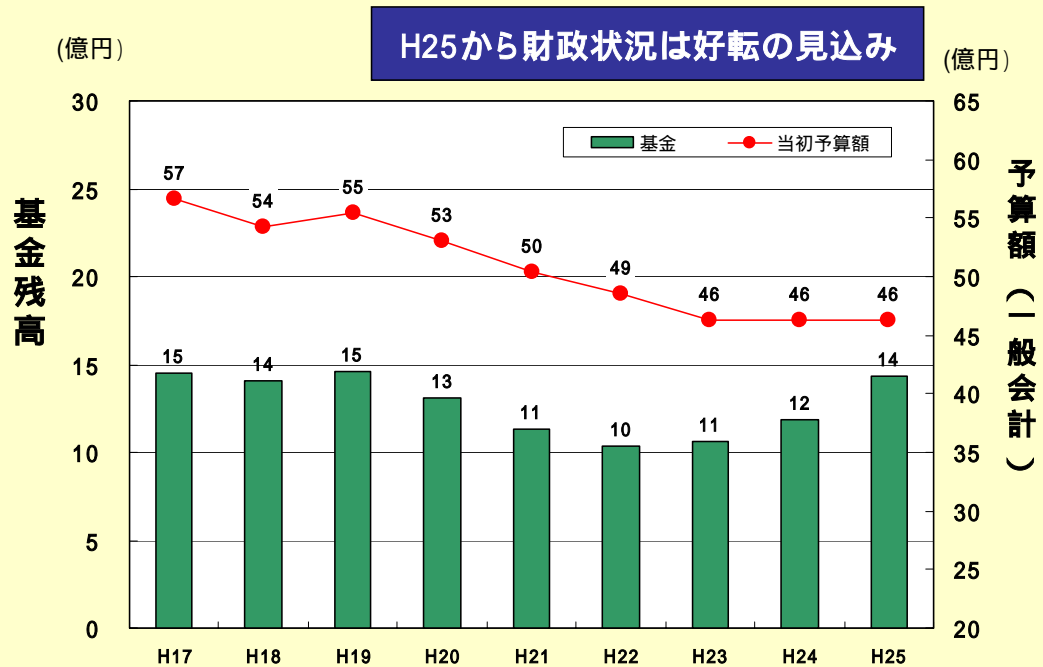
# 類似する町村との比較



平成18年度決算額	孺恋村	類似団体
地方税(一人当り:円)	160,938	85,277
地方交付税( " )	156,740	224,192
起債額( " )	32,147	56,917

施設の整備状況	孺恋村	類似団体
道路改良率(%)	85.1	56.4
道路舗装率(%)	85.9	68.6
下水道普及率(%)	69.3	31.4

# 当初予算額と基金残高の見込み



## 現時点での計画目標

1. H20にスキー場会計の一時借入金をゼロにする (現在の一時借入額3億円)
2. 国営農地開発事業の借金返済をH28からH25までに繰上げて完済する (残り10億円)
3. 実質公債費比率をH23に25%以下にする (H20の推定 27.5%)